

備える 3.11から

第78回 子どもを守れるか

中部4県の沿岸自治体の園児向け津波対策マニュアルの整備状況

自治体	津波対策マニュアル	園児向け	震災後に改定・作成または検討中の主な内容	浸水想定区域内の園児数	保育園	幼稚園
名古屋市	○	○	4階以上の建物を避難場所に。避難経路を複数に	106 (345)	6 (23)	0
豊橋市	○	○	防災ラジオを各園に配布。道路状況などを情報収集	1 (57)	0 (28)	0
半田市	○	○	高所に避難場所を指定。職員の名簿を二重に	1 (20)	0 (9)	0
豊川市	○	○	避難所を以前より高い高所に。保護者名簿と照合して引き渡す	0 (48)	0 (6)	0
碧南市	○	○	緊急連絡マニュアル作成。職員の手帳等に避難所を記載	6 (14)	2 (5)	0
刈谷市	○	○	2次避難場所を高所の小学校に指定	0 (13)	0 (18)	0
刈谷市	○	○	一斉メールシステム導入。緊急連絡先を複数に	5 (36)	0 (6)	0
西海市	○	○	避難場所を高所に。保護者向けに非常連絡メール	0 (18)	0 (3)	0
常滑市	○	○	訓練を通じた高所の対応をチェック	1 (12)	0 (2)	0
知多市	○	○	避難場所を高所に。避難経路の作成。手回しラジオ設置	4 (14)	3 (7)	0
高浜市	○	○	津波を想定した避難訓練実施	0 (6)	0 (5)	0
田原市	○	○	避難所を複数に変更	3 (21)	0 (2)	0
常滑市	○	○	災害規模に応じた避難場所を複数指定。ラジオ増設	0 (9)	0 (2)	0
龍江町	○	○	より高い建物に避難	7 (7)	3 (3)	0
飛島村	○	○	防災無線の受信機設置。2次避難場所を公民館に	2 (2)	—	—
東浦町	○	○	災害時は深夜も不明になっても園で預かりが基本	0 (8)	0 (1)	0
南知多町	○	○	2次避難場所を高所に。一斉メールシステム導入	1 (6)	—	—
美浜町	○	○	緊急連絡先を複数に変更。避難経路を再検討	0 (7)	0 (1)	0
武豊町	○	○	緊急地震速報の受信機設置。園で一斉メール	2 (10)	—	—
合計				138 (655)	14 (121)	0



三重県松阪市の中川幼稚園の避難訓練。園児は担任と近くの中川小学校に避難し、緊急メールを受けて駆けつけた保護者と落ち合った。

中部4県アンケート分析

津波から幼い園児を守るか。近い将来起きる可能性のある南海トラフ地震に備え、保育園や幼稚園の現場に実用向けられた備えは、認知、二重、三層、扉、扉の四層の対策がほとんど。津波対策を進めているのか、本紙のアンケートをもとに「同」にわたって検証する。(中沢誠)

園児引き渡し 保護者連絡法や タイミング模索

東日本大震災から7年。宮城、福島、三重で犠牲になった保育園児は計八十八人、幼稚園児は計八十八人。上った。このうち保育園児は、宮城県の園児二人以外は保育所で引き渡された。保護者に引き渡された後に津波を引き止めたケースもある。

■責任 被災地の保育園を調査した和洋女子大の太田光教授は「これまで保護者や幼稚園は、災害時に親元に引き渡す方針が一般的だった。管理責任から逃れたいという思いで、親元の方が園児は安心するだろうから早く帰したいという気持ちもある」と指摘する。

■高浜市 高浜市は、日知幼稚園が震災時、送迎バスを園外に搬送させ、園児を保護し、園児五人が犠牲になった。

安全確認後 お迎え要請/車誘導 園庭で乗車...

園庭で乗車... 安全確認後、お迎え要請、車誘導、園庭で乗車... 園庭で乗車... 安全確認後、お迎え要請、車誘導、園庭で乗車...

低い避難場所は変更

低い避難場所は変更... 低い避難場所は変更... 低い避難場所は変更...

東北3県の保育園の被災状況

(2012年4月1日現在)

自治体	園舎の被害(件)			亡くなった園児(人)	
	全壊	半壊	一部被害	保育中	保育外
岩手	12 (12)	6 (6)	148 (136)	0 (0)	36 (36)
宮城	27 (19)	29 (17)	247 (202)	3 (3)	57 (44)
福島	6 (5)	10 (7)	248 (168)	0 (0)	2 (2)

※認可、認可外の公私立保育園すべてを含む。()内は認可の園数。労働厚生省調べ

津市

四日市市	○	○	市の担当課と保護者間で一斉メール、通称「バス運行中」	29 (57)	18 (49)
伊勢市	○	○	津波の受信状況を毎月確認	11 (51)	8 (37)
松阪市	○	○	避難場所を高所に。引き渡しカード作成。保護者に一斉メール	16 (32)	6 (16)
桑名市	○	○	30分以内に行ける避難場所を指定	8 (36)	7 (20)
鈴鹿市	○	○	より高所に避難所を指定。状況に応じた引き渡しルールの見直し	12 (26)	10 (27)
鈴鹿市	○	○	保護者や職員、園児の避難経路を共有する防災カード	10 (40)	9 (25)
高岡市	○	○	津波を想定した避難訓練を実施	3 (7)	1 (2)
鳥羽市	○	○	より高い建物に避難	4 (9)	1 (1)
熊野市	○	○	※地域の実情に合わせて避難ルートを作成	4 (9)	2 (2)
志摩市	○	○	園児の安全を最優先で園庭で引き渡すか判断	4 (16)	5 (8)
大宮前町	○	○	引き渡し連絡のメールシステム	2 (2)	2 (2)
川越町	○	○	3階以上の建物への避難。引き渡しカード	3 (3)	2 (2)
明和町	○	○	避難場所を複数に変更	2 (3)	2 (4)
大紀町	○	○	※いずれの園舎も安全な場所あり。緊急に見直しの必要ないと判断	0 (5)	—
南伊勢町	○	○	※緊急連絡先を複数に変更	6 (8)	—
紀北町	○	○	※保護者や職員、園児の避難経路を共有する防災カード	3 (3)	3 (3)
紀南町	○	○	※緊急連絡先を複数に変更	2 (4)	—
紀宝町	○	○	○	3 (5)	0 (1)
合計				127 (321)	76 (199)

静岡市

静岡市	○	○	高所の公共施設や商店のビルを避難先に	7 (104)	8 (96)
浜松市	○	○	避難場所の見直し。乾電池ラジオ購入。緊急連絡先の確認	12 (67)	25 (119)
沼津市	○	○	避難場所を複数指定。保護者に避難場所の告知	8 (31)	3 (25)
熱海市	○	○	高所に避難場所を指定。散歩中の災害対応も明記	0 (6)	0 (6)
伊東市	○	○	避難場所を変更。ラジオ台設置	4 (9)	5 (16)
富士市	○	○	保護者に一斉メール。引き渡し訓練実施	0 (5)	0 (5)
静岡市	○	○	津波を想定した避難訓練を実施	2 (22)	2 (29)
焼津市	○	○	※緊急連絡先を複数に変更	3 (13)	7 (21)
掛川市	○	○	緊急地震速報の受信機設置	0 (14)	0 (18)
袋井市	○	○	避難タワーや企業屋上へ避難場所を設定	0 (12)	0 (14)
下田市	○	○	避難先の見直し。避難時の携帯用品明記	1 (5)	1 (4)
湖西市	○	○	園外の高さを避難場所指定	2 (7)	1 (6)
御前崎市	○	○	○	0 (5)	0 (6)
牧之原市	○	○	避難場所の変更。複数の避難場所指定	2 (10)	2 (6)
河津町	○	○	○	0 (1)	1 (1)
東伊豆町	○	○	保護者が迎えに来られない場合は想定し非常食を備蓄	0 (1)	0 (3)
松崎町	○	○	○	0 (1)	0 (2)
吉田町	○	○	乾電池ラジオ設置	2 (4)	2 (2)
合計				43 (367)	57 (366)

福井県

福井市	○	○	複数の避難経路設定。防災情報の受信機設置	0 (75)	3 (20)
敦賀市	○	○	避難経路や所要時間の確認	0 (21)	0 (5)
小浜市	○	○	経路と場所の確認	3 (13)	1 (1)
あわら市	○	○	※小学校の危機管理マニュアルを適用	0 (11)	4 (5)
坂井市	○	○	避難場所の増設。防災無線の整備	0 (30)	0 (15)
南越前町	○	○	※町の防災計画の津波対策で対応	1 (4)	0 (1)
越前町	○	○	※沿岸部全域の津波マニュアルあり	1 (3)	—
美浜町	○	○	園の保護者が行った一斉メールシステム作成	0 (3)	—
高浜町	○	○	園外に避難場所を指定。防災無線やラジオで情報収集	2 (4)	—
おおい町	○	○	避難場所の指定。引き渡しルートを明文化	0 (4)	—
若狭町	○	○	引き渡しは、あらかじめ登録した保護者のみ	0 (10)	—
合計				7 (178)	8 (47)

注:名古屋市の幼稚園は公立のみ。()内は認可の園数。浸水想定区域を見直した自治体もある